

令和4年度 第3回運営協議会議事録

開催日：令和5年2月6日(月) 14:15～15:30 於：プレゼンテーションルーム

出席者：【委員(敬称略)】岩瀬絢市、上田えりか、岡崎裕、新納孝啓、田中正視、寺脇 久人

【事務局員】長岡校長、杉野事務長、田中教頭、井内首席、宮武首席

【学校関係者】各分掌長、学年主任、初任者

1 連絡及び報告事項

(1) 授業アンケートについて

昨年度と比較して肯定的な意見が0.09ポイント微増した。項目別に比較しても昨年度とほぼ変化はないが、コロナ禍が収束し、学校での活動がほぼ正常化したため実技科目や行事に関しても評価は高い傾向が見られた。対面での授業に勝るものはないと判断する。

(2) 進路決定状況について

- ・大学短大、専門学校、就職の割合はほぼ例年通りで、進路未決定者は現状で9%。現在も指導中で最終的には5～6%になる見込みである。今年の特徴的なことは、動物系の専門学校の志願者が増えた。一方、募集締め切りが例年より早くなっており出願に遅れると入学できない可能性がある。
- ・医療看護系を志望している生徒には特別講義を実施した。受講した生徒全員が合格した。医療系の仕事は看護だけでなく放射線技師や作業療法士など幅広く、高校生に知られていない分野も多いので早期からガイダンスをしていく。
- ・学校斡旋による就職は昨年度1次内定率が約60%。今年は夏以降ほぼ毎日放課後の指導を行うことで90%を超えた。・企業の求人票は今年度からデジタルファイリング化を導入して、生徒は自宅でも閲覧が可能とした。

2 協議事項

(1) 令和4年度学校経営計画および学校評価については、今年度の取り組み報告と自己評価について説明。

- ・泉鳥取高校との機能統合について
 - ・国際交流(オンラインで香港の学校と2回実施)
 - ・地域連携でイオンモールでのイベントに参加(あわせて本校生が考案したメニューが同フードコートにおいて期間限定で販売)
 - ・学校満足度は86.5%と12ポイント上昇
 - ・クラブ活動を通して地域の中学校と連携
 - ・校内のWi-Fiアクセスポイントの拡充、トイレの洋式化推進
- いずれもほぼ計画通りに進んでいることを報告するとともに令和5年度学校経営計画については、令和4年度の評価指標を踏襲し、実態に合わせて修正。新型コロナウイルスについては削除または「感染症」としている。新規取り組みとして、校内での英語活動の充実、働き方改革推進では、週一回定時退庁日の設定、欠席連絡にICT導入、時間外での電話対応の自動音声化等の導入を進めることを説明。
- ・令和4年度学校経営計画および学校評価、令和5年度学校経営計画について承認された。

3 提言、意見等

(岡崎委員より)

委員からの意見等・教職員の負担感がネガティブにとらえられて、教員志望者が低下しているのは社会的に問題とされている。定時退庁については、働き方改革に向けての第一歩として理解し

たが、特定日を定時退庁にすることで他の日の残業時間が多くなるのではないかと危惧される。既存の資源を最大限に活用して取り組んでほしい。

(寺脇委員より)

近隣住民としては、下校指導や通学路清掃に取り組んでいただいているのはありがたい。

(田中委員より)

きしわだ自然資料館には動物系専門学校等から学生が研修で来館する。また地域の保育所からも園児が来校する。そういった際にりんくう翔南の卒業生が活躍している姿を見る機会がある。地元の現場でよく頑張ってくれている。

(新納委員より)

例年市内の中学校卒業生がりんくう翔南高校でお世話になっている。今年も志願者が多い。引き続きご指導をお願いしたい。